

桂木 庸雄 議員



▲深谷地区

Q 深谷・大和田線の事業推進を

A 県の支援を受け、総額18億円で整備する

Q 市道②2644号(深谷・大和田)線の事業内容について伺う。

A 市長 深谷地区から大和田地区間は、道路が狭隘で屈曲箇所も多く、歩道と車道の区分のない混合交通の部分があります。今年11月の霞ヶ浦大橋の無料化に伴い、交通量の増大が懸念される路線です。

合併協議会において合併特例債による整備事業としての位置付け、その後、平成16年12月22日、茨城県により合併市町村幹線道路緊急整備支援事業の指定を受け、平成17年3月9日、霞ヶ浦町議会で町道2644号線としての認定を受けたものです。総延長約3千メートル、事業予算は、総額18億円を予定しています。

Q スムーズな窓口業務を。

A 市長 総合窓口係では、新市発足前の段階で、所管する課室局から受付において、マニュアル提出と併せて業務研修を行い、合併したことにより窓口業務サービスの低下を招くことのないよう対応しております。

和田 正美 議員

Q 産業別活性化の促進を

A 豊かな地域特性・資源を一体化する

Q 産業別活性化への取り組み促進について伺う。

A 市長 本市は、レンコンや果樹、内水面漁業など全国有数のシェアを誇る農林水産業と、立地条件に恵まれて集積してきた商工業がバランスよく発展しているものと認識しております。今後とも、豊かな地域特性・資源を一体化しながら積極的に

PRし、市となったことのイメージアップ効果などにより、地域環境とマッチした新しい産業の誘導・産業振興による雇用の拡大や流通の拡大に結びつけていくことが必要と考えています。そのためにも地域間競争を勝ち抜いていきたいと考えております。

Q 現在の駅ホーム、駅前広場、駅前道路など神

立駅及び駅周辺の整備についての考えを伺う。

A 市長 現在、土浦市・かずみがうら市、両市の懸案事項であり、神立駅の懸案事項で、駅前広場・駅の橋上化・駅前広場・駅前道路等の整備計画を各関係機関と協議を進めている段階で、地元地権者等の合意形成を図るべく作業を進めているところであります。



▲レンコン、梨

質問事項

- 1.新市建設まちづくり構想の具体化について
 - (1)新市体制の安定化について
 - (2)インフラ整備について
 - (3)市民サービスの充実について
 - (4)保育・教育行政の充実について
 - (5)医療・福祉サービスの充実について
 - (6)行政管理体制の整備について
 - (7)行財政基盤の整備について
 - (8)安全確保の充実について

質問事項

- 1.道路行政について
 - (1)特定幹線市道整備推進事業について
- 2.福祉行政について
 - (1)特定事業推進について
 - (2)少子化対策について
 - (3)介護保険について
- 3.教育問題について
 - (1)学力向上策について
 - (2)子供の居場所づくり新プランについて
 - (3)児童生徒の「不登校」「いじめ」「暴力」「躁うつ症状」について
- 4.行政サービスについて
 - (1)総合窓口業務について

國司 光文 議員



▲千代田大橋

Q 抜本的な経費削減計画の策定を

A 事務事業の見直しを徹底して行う

Q 新市における抜本的な経費削減計画の策定は、何よりも優先すべきテーマである。今後人件費をどのように削減していくのか。

A 市長 新市建設計画の考え方に基づき、人件費の削減を進めていきますが、新たな組織機構で業務を開始して間もないこともあり、今後、住民ニーズ及び

サービスの需要等の状況を把握することにより、事務事業の見直しを徹底し、職員数の適正な配置に努め、また、分庁舎方式における事務処理についても、情報通信技術の活用など効率的な事務処理の方策を検討し、人件費の削減に努めていきます。

Q 千代田大橋歩道部分の亀裂、陥没が発生した

A 部長 歩道部分に亀裂が生じた原因は、橋面部であることから、車両の通行等によるたまりや振動によるものと推察されます。また、陥没につきましては、橋梁の取付盛土部であり、自然発生的な地盤沈下の可能性が大きいと推察されます。

中根 光男 議員

Q 男女共同参画を推進するための事務局の設置、推進員の明確化及び具体的推進内容について伺う。

A 市長 男女が互いにその人権を尊重し、責任を分かち合い、性別にかかわらず個性と能力を十分に発揮することのできる男女共同参画社会の実現は、大変重要な課題と認識しています。推進策については、旧両町で女性の社

A 推進計画の策定の中で具体的施策を検討

Q 男女共同参画社会の推進内容は

A 会参画を推進するための講演会の開催、啓発事業、社会参画を支援するための事業を各部署で実施してきました。

新市では、それらに加え、県及び関係機関と連携を図り、推進計画の策定を進め、計画を推進するための基本的方向と具体的施策を、考えて行きたいと思っています。

Q 公共施設にオストメイト対応トイレの整備を。

A 市長 庁舎を含めた公共施設には、多目的トイレは現在未設置ですが、千代田庁舎については、新市建設計画に合併特例債を活用した庁舎増築事業が計画されており、霞ヶ浦庁舎にも、新築事業の計画があります。いずれの庁舎にも、事業の実施と併せてオストメイト対応の多目的トイレの設置について検討を進めて参ります。



▲多目的トイレ

質問事項

- 1.教育行政について
 - (1)適応教室の取り組みについて
 - (2)子供を守る、自動体外式除細動器の設置と認識について
- 2.女性行政について
 - (1)男女共同参画社会への具体的な取り組みについて
- 3.市民サービス行政について
 - (1)多目的トイレ設置について
 - (2)出前講座の実施について
- 4.農業行政について
 - (1)イノシシ等有害駆除について

質問事項

- 1.政治姿勢について
 - (1)人件費削減について
 - (2)市長交際費について
 - (3)西部出張所(霞ヶ浦)南部出張所(千代田)統合について
- 2.土木行政について
 - (1)千代田大橋(2784号線)改修について
- 3.行政事務について
 - (1)事務事業の実施状況について
 - (2)一般職員給与の調整について
- 4.税行政について
 - (1)前納報奨金について
- 5.教育行政について
 - (1)小中学校運営について

佐藤 文雄 議員



▲あじさい館

Q 福祉センター建設の見直しを

A 地域住民の意見を聞き実現めざす

Q 福祉センター建設については、あじさい館や既設の施設の改良など、総合的な活用を考え、見直すべきではないのか。

A 市長 当該施設は、少子高齢社会への対策の一環として、地域住民の方々が集い、様々な活動を行う中で、子供から高齢者までのあらゆる人々が触れ合うための施設整備を目指し、新

市建設計画の事業として位置付けられたものです。あじさい館など、既存の特性を十分把握しながら、福祉センターの事業を推進したい。建設に当たっては、地域住民の方々の意見を拝聴しながら、更なる検討を重ね、実現を目指したい。

Q 市内循環バスの拡充はいつ実施するのか。

A 現在、霞ヶ浦地域において6つのコースを設定し、1日に3コースを交互に往復運行しています。あじさい館の利用促進、並びにあじさい館を発着地とし霞ヶ浦庁舎を経由し、両施設へのアクセスを向上させています。今後は、あじさい館やあじさい号の利用状況などを踏まえ方向性を検討して参ります。

栗山 千勝 議員

Q 市の中心に本庁舎を

A 霞ヶ浦庁舎建設審議会の意見を聞き検討

Q 本庁舎を市の中心部に建てる考えはないのか伺う。

A 市長 新市建設計画では、現在の公共施設の有効利用・相互利用等を総合的に勘案し、千代田庁舎を新市の事務所とし、基幹的な機能を持たせ、霞ヶ浦庁舎は、移転整備を行うこととしています。

す。新市の霞ヶ浦庁舎建設審議会の意見を聞きながら検討致します。

Q K開発株式会社土地保有税の徴収と責任について伺う。

A 市長 K開発株式会社は、昭和60年3月に設立された会社ですが、30数回にわたり事務所の位置を移転し、平成15年7月に東京地方裁判所の費用不足による破産廃

止決定の確定により、同年10月31日の登記をもって、法人登記簿が閉鎖されています。滞納処分や茨城租税債権管理機構を活用し徴収努力をしてみました。が、会社の消滅と言うことで執行停止に至ったものです。責任の所在については、その長にあると思います。今、私が首長になっていきますので、その責任を取るのには当然だと思ひます。



▲霞ヶ浦庁舎

質問事項

- 福祉行政について
 - (1) 保育所建設について
- 行政運営について
 - (1) 霞ヶ浦庁舎建設について
 - (2) 副市長制度について
 - (3) 住民サービスについて
 - (4) 税行政について
- 環境問題について
 - (1) 残土埋立てについて

質問事項

- 旧千代田ー霞ヶ浦間の新市幹線道路について
 - (1) 旧千代田ー霞ヶ浦地区間の幹線道路はいつ具体的に示すのか
 - (2) 県の合併支援道路に決定されるまでの経過について
 - (3) 建設費における合併特例債活用と一般財源との関連について
- 福祉センター建設について
 - (1) 福祉センター建設の必要性について
- 住みよいまちづくりについて
 - (1) 市内循環(福祉)バスの運行について
 - (2) 未就学児までの医療費無料化拡大について
 - (3) 国民健康保険税について
- 教育行政について
 - (1) 教育条件の改善について
 - (2) 児童を守る安全対策について
- 森林環境共生ゾーンについて
 - (1) 雪入ふれあいの里公園について
 - (2) 三ツ石森林公園について
- 水道事業について
 - (1) 県との契約水量について
 - (2) 漏水の軽減基準について
 - (3) 水道料金について
- 入札制度について
 - (1) 入札制度の改善策について
- 向原土地画整理事業について
 - (1) 保留地販売状況について
 - (2) 事業全体の見直しについて
 - (3) 予定した保留地処分金が期待できない場合における問題について